

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広島大学附属小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 734-0005
広島市南区翠一丁目1番1号

E-mail : fuzoku-midori@office.hiroshima-u.ac.jp

Website : http://home.hiroshima-u.ac.jp/fushou/

児童生徒数：男子 218名 女子 221名 合計 439名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

広島大学附属小学校型 ESD カリキュラムに基づく、今年度の主な活動は、次の通りである。

3年：「海辺の生活」(江田島の自然環境)

総合的な学習の時間や理科等の時間を利用し、江田島付近の海に棲む生き物について、インターネットや図書の本で調べ、冊子にまとめさせた。そして、実際に宿泊単元「海辺の生活」実施時に、さとうみ科学館の館長さんをゲストティーチャーとして招き、江田島の海の生き物の生態や瀬戸内海的环境について学習した。また、カブトガニやウミホタルを直接観察することによって、海の生き物に関する感動的な理解を深めた。

4年：「集団疎開先を訪ねて」(平和学習と現地校との交流)

附属国民学校時代に本校児童が集団疎開していた全政寺(広島県庄原市西城町)に行き、当時の様子などについて住職さんのご説明・ご講話をいただいた。当時の児童は親もとを離れ、食べ物も十分でない状況の中で生活していたことを知り、平和の大切さを実感することができた。また、地元の西城小学校との交流も実施し、それぞれの学校について紹介し合うことなどを通して、都会の学校と山村の学校お互いの理解を深めた。

5年：「ふれあい田んぼ教室」(米づくり体験)

農事組合法人や農業協同組合のご協力をいただき、「ふれあい田んぼ教室」を実施した。年に2回(田植え編と稲刈り編)広島市安佐南区沼田町吉山へ出かけ、春には田植え体験や田植え機の見学やお米学習会を行い、秋には稲刈り体験を通して収穫までの過程を学習した。また、田んぼと同じ土・同じ苗で“バケツ稲”づくりに挑戦し、米づくりの難しさを体験した。「ふれあい田んぼ教室」を通して、日本の食文化に関する理解を深めるとともに、里山の自然に親しむことができた。

6年：「研修旅行」(沖縄の自然と文化)

自然や文化が広島とは大きく異なる沖縄を「研修旅行」の目的地として、事前に総合的な学習の時間にインターネットなどを通して沖縄の自然環境や文化遺産について調べた。現地ではマングローブ林の生育状況や浜辺の生き物などを観察し、広島と沖縄の違いを明らかにすることができた。また、沖縄の文化についても事前に調べ、沖縄独特の文化や諸外国との関わりなどについて班別自主研修という形で学ぶことができた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()